

# Status & Challenges

## 技士会の現状・課題

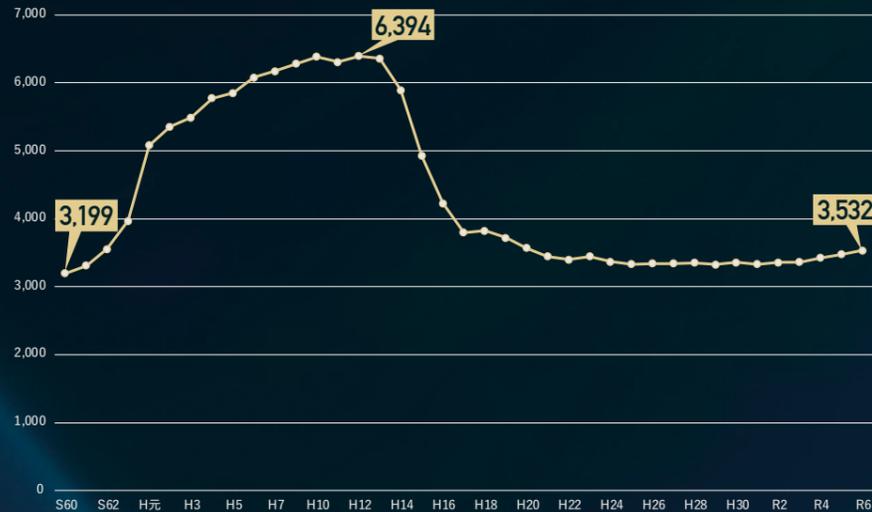
長野県土木施工管理技士会の会員数は、昭和60年(1985年)の設立から年々順調に増加して平成12年度には6,349人とピークに達しました。その後平成14年以降に退会される方が増えて急激

に会員数が減少しました。平成25年度には3,334人となりましたが、減少は底を打ちその後微増を続けています。

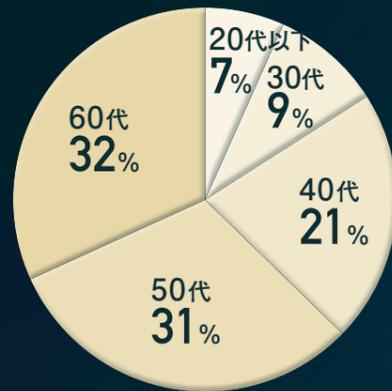
一方、令和6年度末の会員の年齢構成を見ると、40代未満の若手技術者が

16%と非常に少なく、50代以上が6割を超えており、本県技士会の高齢化が深刻な状況であることが浮き彫りとなっています。

長野県土木施工管理技士会 会員数の推移



会員の年齢構成



## In the future

### これからの技士会活動について ～50周年に向けて～

10年後の2035年に長野県土木施工管理技士会は設立から半世紀という大きな節目を迎えます。この節目を迎えるにあたり、現状で技士会が抱える会員の確保と高齢化をいかに克服していくかが今後10年間の大きな課題となります。

会員の年齢層が高いため今後10年間に退職等による退会者が増えていくことは必然の流れとなります。どれだけ多くの若い技術者の皆様が会員となって当会

を支えてもらえるかということがカギになり、若い技術者に入っていただけるような魅力ある組織となるようにしていかなければなりません。

そのためには、DXの推進を一層進めるなどにより働き方改革を進めること、一層の技術力向上につなげるために研修・講習を充実させ、多くの若い方々に参加できる機会を確保していくこと、また、会員以外の多くの皆様方に「技士会」

を知ってもらうことも必要になります。

長野県土木施工管理技士会がさらなる発展を継続し、栄えある50周年の節目を迎えられるように会員全員で活動を盛り上げていかなければなりません。

そのためにも一丸となって取り組んでまいりますので、関係者の皆様方の一層のご協力・ご指導を当会にいただきますようお願い申し上げます。

表紙写真:「地附山地すべり災害」:技士会設立と同年に発生(上写真は被災時、下写真は2020年撮影)  
写真提供:長野県砂防課・長野県長野建設事務所

長野県土木施工管理技士会  
〒380-0824 長野市南石堂町1230番地長建ビル内  
TEL(026)228-7200 FAX(026)224-3061  
公式HP ▶ <https://www.choken.or.jp/ejcm>



長野市地附山地すべり災害(1985年7月発生)

～「安全で・良質で・早く・しかも経済的に」を追求して～

# 技士会設立40周年



# greeting

## 設立40周年にあたり



### 「土木技術者として 資質向上を目指して」

長野県土木施工管理技士会 会長  
唐木 和世

長野県土木施工管理技士会は昭和60年12月9日の設立から本年40年目の節目を迎えます。先輩諸氏が築き上げてきた会員の技術力及び社会的な地位向上のためのご努力、ならびに今まで当会を支えていただいた全ての皆様方に感謝申し上げます。

この40年を顧みると、景気の浮き沈みにより会員の大きな変動等が生じて苦難の時期もありました。また、近年では技術者の高齢化が進み、若年層会員の減少が目立っております。

このような厳しい状況下ではありますが、40年の節目を契機に、あらためて長野県土木施工管理技士会の目指すところである会員の技術力向上及び社会的地位の確立を一層推し進めるとともに、技術者としての原点に立ち「安全で・良質で・早く・しかも経済的に」を目標に、施工及び施工管理技術等の発展、工事の安全確保、品質向上及び施工の効率化を図り、社会資本の整備に貢献し、住民生活の向上に寄与することが我々技士会員の使命だと認識し、これからも一層会員相互の資質の向上に努めてまいります。

当会では、会員の技術力向上を図るため、研修会や、各種講習会の開催など様々な取り組みを行っております。引き続き、1級・2級土木施工管理技術検定受検準備講習会、JCMとの共催によるセミナー、現場技術研修会などを開催し、これら事業を通じて建設工事を適正に施工するために必要な専門知識及びその能力の習得に努めてまいります。

また、令和6年度から適用となった時間外労働の罰則付き上限規制や昨今の資材価格の上昇などにより、建設業を取り巻く環境は一層厳しさを増しておりますが、このような状況に対応するため、生産性や技術力の向上を図り、ICTやBIM/CIMなど各種IT技術によるDXを推進する取り組みを当会としても進めてまいりますので、関係各位の一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

末尾となりますが、会員各位ならびに関係各位におかれては、設立時より現在に至るまで永年運営を支えていただき、厚く御礼申し上げます。

歴代会長
初代 1985-1994 山浦 和人
二代 1994-1998 滝澤 和夫
三代 1998-2002 北澤 三郎
四代 2002-2006 藤森 昭男
五代 2006-2008 佐々木 力
六代 2008-2010 林 博
七代 2010-2018 牛越 恵司
八代 2018-2024 野島 登
九代 2024- 唐木 和世

# initiatives

## 長野県土木施工管理技士会の活動

### 現場技術研修会

会員のスキルアップを図るため、県内を中心とした土木工事現場を訪問し、DXなどの最新技術を含む先進事例を視察する研修を年2回程度行っています。

左の写真は、2024年11月に実施した下水内郡栄村の千曲川に架かる百合居橋の送出し工法による架替工事の研修状況です。



### 県公共事業担当部局との意見交換会

長野県が発注する工事について、会員が現場で抱える課題等を提案する形式で、県公共事業担当部局と毎年1回意見交換会を実施しています。

課題に対する解決に向けて、県担当者と技士会役員等が活発に議論を交わしています。

### 土木施工管理技術検定受検準備講習会

建設業法に定められた1級及び2級土木施工管理技士の国家資格取得を目指す方々に対し、技術検定に向けて「合格できる力」が短期間で身につけられるよう支援するため、受検講習会を開催しています。

コロナ禍による中止や規模縮小で一時的に受講者が減少しましたが、土木施工管理技士検定試験改定等により受講者が再び増加してきています。



# history

	1985 (昭和60年)	1986 (昭和61年)	1987 (昭和62年)	1989 (平成元年)	1990 (平成2年)	1992 (平成4年)	1996 (平成8年)	1997 (平成9年)	1998 (平成10年)	2000 (平成12年)	2002 (平成14年)	2003 (平成15年)	2004 (平成16年)	2005 (平成17年)	2010 (平成22年)	2011 (平成23年)	2014 (平成26年)	2015 (平成27年)	2016 (平成28年)	2017 (平成29年)	2019 (令和元年)	2020 (令和2年)	2021 (令和3年)	2024 (令和6年)	2025 (令和7年)
活動 トピックス (会報から)	長野県土木施工管理技士会設立総会	土木施工管理技術者講習会開始	監理技術者制度開始 土木施工管理技術者講習会開始	提出書類合理化案作成	監理技術者制度全面適用	会員数約5500名で全国2番目となる	若手土木技術者交流会開始	会報で女性技術者の紹介始まる	関東ブロック技士会連合会総会が軽井沢町で開催	長野県技士会が全技連会長表彰を受賞			新入札方式の勉強会開催		長野県技士会が全技連会長表彰を受賞	通常総会後に技術発表会を開催		設立30周年記念講演会開催	「i-Constructionの概要」及び「CIMの活用」講習会開催	登録解体工事講習会開催		長野県技士会が全技連会長表彰を受賞	技術者検定試験制度改定(技士補の新設等)	土木施工管理技士検定試験制度改定(受検資格の学歴廃止等)	設立40周年記念講演会開催
出来事	長野市地附山地すべり災害					全国土木施工管理技士会連合会(全技連)設立	小谷村蒲原沢土石流災害		長野冬季五輪開催	全技連でCPDS制度導入開始	県公共工事入札等適正化委員会設置	県受注希望型競争入札試行開始	県総合評価落札方式試行開始		県北部地震災害	南木曾町土石流災害・御岳山噴火・神城断層地震災害				令和元年台風19号災害	新型コロナウイルス感染症流行				